

公益財団法人さんりく基金
令和6年度第1回評議員会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和6年6月11日(火) 午前10時25分から午前10時55分
- (2) 場所 岩手教育会館カンファレンスルーム200(盛岡市大通1-1-16)
及びWeb会議システム「Zoom」

2 評議員の現在数

評議員7名

3 出席者

- (1) 評議員 桐田 教男
- 評議員 澤里 充男
- 評議員 水野 雅裕
- 評議員 村上 宏治

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom」により参加した。

- 評議員 引屋敷 努
- 評議員 平松 福壽

(2) 役員

業務執行理事 松本 淳 業務執行理事 中野 文男

(3) 事務局

事務局長 松本 淳 事務局次長 森 英介
三陸DMOセンター長 中野 文男 DMO事業部長 高橋 利明
総務管理部長 佐藤 光勇 DMO事業部副部長 日向 満
総務管理部副部長 戸塚 教仁 事務局員 田村 優子
事務局員 川村 泉

4 欠席者

評議員 菊池 透

5 議長

村上 宏治

6 決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和6年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について
- 第3号議案 理事の選任について

7 議事の経過

午前10時25分開会した。

冒頭、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者

が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、議事を開始した。松本業務執行理事が、評議員現在数7名中出席6名により定款第20条に定める定足数を満たしており、本評議員会は成立した旨を告げた。

また、本年3月の熊谷評議員の退任により、副議長が空席であることから副議長を選出することとし、村上評議員が選出された。なお、議長である菊池評議員が本日欠席であることから、副議長の村上評議員が本日の議長として議事進行を進めることとなった。以降の進行は、村上議長により進められた。

なお、議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は引屋敷評議員と水野評議員の2名を指名した。

報告事項1 「職務執行の状況について」

松本業務執行理事が執行状況を報告した。

議長が報告について質問、意見を求めた。

【澤里評議員】

5ページ、資料2のイベント開催事業について、一般社団法人三陸まちづくりARTの事業概要をお知らせいただきたい。

【川村事務局員】

具体的内容は、公園を活用した、伝統芸能と参加型のアドベンチャーゲームの開催。俳優が歴史上の人物に扮し演劇やパフォーマンスをしたり、子供達向けの宝探しなどのアドベンチャーゲーム等のイベント。モザイクタイルのワークショップも開催予定。

【澤里評議員】

規模感、集約人数はどのくらいか。

【川村事務局員】

公園での開催であり、各公園100人程度で、全体で300人程度の予定。

【桐田評議員】

同じく、実施時期はいつごろか。

【川村事務局員】

8月から9月にかけて実施予定。具体的日にちはこれから決定する模様。

その他発言はなく、議案の審議に入った。

第1号議案 「令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第2号議案 「令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第1号議案と第2号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、森事務局次長が説明した。

議長が、第1号議案、第2号議案について一括して質問、意見を求めたが、特に発言

はなく、第1号議案及び第2号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第3号議案 理事の選任について

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、佐藤総務管理部長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、田中宣廣氏の理事選任について、全員異議なくこれを可決した。

議長はその他事項について意見を求めた。

【桐田評議員】

参考資料の10ページに定款が添付されている。「第2章目的及び事業」の内容を改めてひも解くと、第4条で「三陸地域の振興を図る」とあり、第5条に「(1)三陸地域の振興に関する提言」という項目がある。先ほどの決算報告にあったように、事業をやっていくにつれて基金が減っている状況で、今後どうするのか考えなければいけないテーマだと思っている。振興に関する提言というようなメリハリのある取組が必要な時期なのではないか。昨年度の評議員会で、県においてもそのような取組をすすめているという話があったので、お願いしたい。

もう一点。三陸地域の住民の方々が、さんりく基金や三陸DMOという名前をどれだけ理解しているのかとったりする。したがって、さんりく基金や三陸DMOという名前でマスコミに露出する取組をやっていただきたい。二つの点について発言させていただいた。

【森事務局次長】

三陸地域の総合的な調査研究及び提言ということで、平成30年度に委託事業で総合的な三陸の振興に関する調査を実施した。これを踏まえ、県とさんりく基金で、さんりく基金の残りの期間、先が見えてきている時期になってきたため、さんりく基金の将来のあり方も含めて、三陸の総合的な振興体制について検討を進めているところ。さんりく基金については、評議員、理事の皆様、市町村や関係団体などから丁寧にご意見を伺いながら、検討をすすめていきたい。

また、PRについても、さんりく基金や三陸DMOセンターの名前をできるだけ知ってもらえるような形でのセミナーや意見交換会を今年から色々考えて実施しているので、このあたりは頑張っって進めていきたい。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午前10時55分閉会を宣し、散会した。本日のWeb会議システムを用いた評議員会は、終始異状なく議題の審議を終了した。

8 議事録作成者

業務執行理事兼事務局長 松本 淳